

第3号議案

令和3年度事業計画書及び収支予算書承認の件

令和3年度事業方針(案)

理事長 千葉 一雄

令和2年度の生涯学習センター事業を無事終えることができましたのも会員の皆様方のご支援とご協力の賜と感謝し、厚く御礼を申し上げます。

さて、新型コロナ感染拡大の鎮静化を見通すことができません。昨年度、コロナ禍での対面に頼らないWebを活用したオンライン学術事業の運営経験から、新にWeb専門部署「情報管理局」を設置します。オンライン研修のIT部門をはじめ、士会ニュースの電子化情報や研修会案内、新学習制度の情報をFacebook、Line、Twitterなどの多様なSNSメディアの特徴を生かし、スピード感のある情報を多様な世代に向けて発信をしていきます。学びの機会を絶やさず継続することが一人ひとりの生涯学習を促進し、2021年度も新型コロナ禍での学術事業の課題発見と対策に向けた取り組みを促進します。

2022年4月スタートに新生涯学習制度が1年延期して、開始いたします。新制度移行に不可欠となる新プロ修了取得に向け、未修了者対策の継続を含めたセンターおよび市区町村士会の新プロ研修の連携促進を致します。

第31回大阪府理学療法学術大会からセンターが予算・企画・運営を担い、テーマに生涯学習を掲げ「課題の明確化」、第32回「キャリアラダーとゴール」、第33回「人財育成としての実践」など連続性をもたせて一貫した生涯学習企画に取り組んでいます。現在、南支部から選出したセンター理事の射場一寛大会長、準備委員長北口拓也氏がハイブリット大会に臨み精力的に取り組んでいます。また、大会長の推薦および運営委員を支部から選出し、生涯学習センターの下、市区町村士会の学術の技能および運営力の向上を図り、次世代の人材発掘と育成を目的に支部公募推薦制度へ変更し、改革を進めています。既に第34回は東支部から松木明好大会長(四條畷学園大学)が決定しております。

生涯学習研修集会は「理学療法士の臨床技能」を高める場として誕生し、3回目を迎えます。理学療法の臨床技能のスキルアップを重視し、会員の皆さまに社会に求められる理学療法士としての実践力が備わるよう、各専門領域の第一線でご活躍されている先生方を講師にお招きしています。

今年の前期に「総合理学療法学」学術誌の発刊は、センターの念願であった学術団体として必須条件を満たし、発刊に際しては望外の喜びです。将来的には大学の研究紀要や専門理学療法士の更新要件である査読付き学術論文投稿の受け皿になるように制度に対応した取り組みを進めます。

須藤・西本基金からはじめられた「大阪府理学療法学術奨励賞」の功績を称えつつ、今年度からセンターに移管して「大阪府理学療法学術賞」として学術の発展的な改定とします。

最後に生涯学習センターの役割は、会員が学術活動と臨床技能を研鑽し、府民に質の高い理学療法サービスの提供を目的とします。そのためには、府士会、市区町村士会とより一層の連携を図ってまいりますので、引き続き皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

上記内容に加え「学術の追求」を4つの領域別に掲げています。

| | |
|--------------------------|------------------------------------|
| A-理学療法学の追求 | A-1 研究論文を纏めた大阪府理学療法学術誌の発刊 |
| | A-2 学術の基盤となる大阪府理学療法学術大会の開催 |
| | A-3 学会発表のスキルアップと論文投稿の促進 |
| B-理学療法の臨床技能の追求 | B-1 臨床技能のスキルアップのための生涯学習研修集會を企画する |
| | B-2 理学療法研修会・講習会の質の向上と豊富なプログラムの展開 |
| | B-3 後期研修の症例検討会の開催(2022新生涯学習システム予定) |
| C-臨床実習教育の追求 | C-1 臨床実習指導方法に関する研修会の実施 |
| | C-2 指定規則改定に伴う臨床実習指導者講習会の開催の支援と調整 |
| D-市区町村士会の理学療法の学術と臨床技能の追及 | D-1 新人症例発表会を通じて理学療法学としての科学的思考の育成 |
| | D-2 新人教育プログラムの連携促進(2021年度終了) |
| | D-3 生涯学習の勉強会・学習会を通じた臨床技能の追及への支援 |

A－理学療法学の追求

- A－1 学術誌「総合理学療法学」発刊
- A－2 支部順ごとの大会が、市区町村士会の学術の技能および運営力向上を目的に連携促進を図る
- A－3 臨床スキルアップおよび学会発表から論文作成「技能」は第3回研修集會に継続して開催する

B－理学療法の臨床技能の追求

- B－1 第3回研修集會の継続開催
- B－2 理学療法講習会を年間20本以上の開催
- B－3 後期研修の症例検討会方法を施設、市区町村士会で展開できるように準備に取り組む

C－臨床実習教育の追求

- C－1 中央講習会の開催支援
- C－2 臨床実習指導者講習会大阪府養成校協議会の支援と調整

D－市区町村士会の理学療法の学術と臨床技能の追及

- D－1 支部新人症例発表会の支援
- D－2 新プロ研修会連携事業の促進
- D－3 生涯学習研修会の連携事業の促進